

# 発想を広げ、構想する能力を伸ばす図画工作科の指導の工夫 —「イメージカード」を基にした交流活動と、画面構成の試行活動を取り入れて—

## 現状と課題

図画工作・美術班 中谷 愛（小学校教諭）

解決策として

いいアイデアが浮かばない。どう工夫したらいいのかな・・・



自分らしい発想や構想するかって、どう指導するの・・・



### 発想・構想する場面を丁寧に取扱いましょう

◎挿絵や参考資料に頼るのではなく、**イメージカード**を基にした交流活動をする事で、自分の思いを確かめ、イメージを広げます。

◎アイデアスケッチからいきなり製作ではなく、**画面構成の試行活動**をする事で、表したいことを試しながらイメージを練り上げます。

## 目指す児童像 『発想を広げ、構想する能力が伸びた児童』

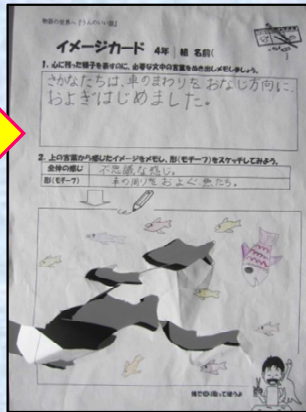
実践例 第4学年「物語の世界へ」 あまんきみこ作 ～うんのいい話～

### つかむ



◎挿絵を抜いた物語を読みます。次に、参考作品を基に、絵に表された形や色に視点を置き、表し方の工夫を話し合います。その後、気に入った場面を選び、イメージカードに簡単な形をスケッチします。

### 広げる



### イメージカードを基にした交流活動



◎絵の中に登場させたい人や物の形に視点を絞り、自分たちのアイデアを交流します。その後、新たな発想を付け加えたり、形を変化させたりして、イメージカードを増やしていきます。（形づくり）

### 画面構成の試行活動



◎形の配置や色の組み合わせ、技法など、表し方を試し、構想を練ります。まず、既習の描画技法を用いて自分のイメージに合った背景を作ります。次に、イメージカードに描いた形を切り取り、背景の上にあれこれ配置して組み合わせを試し、表し方を練り上げていきます。（画面構成）

### ふり返る

◎目標や課題追求に対する達成度や満足度を自己評価し、互いの作品を鑑賞して、表現のよさについて話し合います。

### つくる



◎試行作品を基に、製作を進めます。ここでも、新たな発想を付け加えたり形を変化させたりして、自分のイメージを追求していきます。

### 完成作品



「交流」や「試し」の場と時間の確保が大切です。

#### 【成果】

- ◎イメージカードを基にした交流活動を通して、互いの表現のよさや新たな形に気づき、イメージを広げ、表し方を考えることができました。
- ◎画面構成の試行活動を通して、自由に表現する楽しさを味わい、形や色の変化や組み合わせによる感じ方の違いをとらえ、イメージを練り上げることができました。

#### 【課題】

- ◎思いに合わせた表現と結び付けていけるよう、技能を伸ばすための経験の積み重ねも必要です。